

会 議 議 事 録

1 会議名	令和6年度長岡市社会資本総合整備計画等事業評価監視委員会 【議題2：「長岡市栃尾地区都市再生整備計画」】（都市再生整備計画）
2 開催日時	令和7年2月5日（水曜日） 午後3時20分～午後4時20分
3 開催場所	まちなかキャンパス長岡 301会議室
4 出席者名	（委員） 大塚悟委員長 柏原信幸副委員長 佐藤敏明委員 加瀬由紀子委員 土屋博司委員 矢澤康子委員 笠原聡子委員 （事業説明者） ・長岡市 地域振興戦略部：目黒地域振興担当課長、橋詰地域振興担当課長補佐、久住主査 都市施設整備課：有賀課長 中央図書館：梅沢館長 栃尾支所地域振興課：多田課長、山井係長、諸橋主任 栃尾支所農林・建設課：金内課長、長谷川係長 （事務局） 土木政策調整課：岡村課長補佐、池澤主査、早川主任、板橋主事
5 議題	(1) 社会資本整備総合交付金制度の概要について (2) 社会資本総合整備計画の概要について ア 上位計画の概要 イ 本整備計画の概要 ウ 事業の内容 (3) 評価結果の内容について（審議事項） ア 成果の達成度 イ 事業の効果発現要因の整理 (4) 今後の整備方針について（審議事項）
6 審議結果の概要	議題(1)、(2)について 事業説明者より資料で説明し、理解を得た。 議題(3)、(4)について 提案のとおり、承認された。

7 審議の内容	
委員長	「長岡市栃尾地区都市再生整備計画」の事業評価についてです。
	「(1)社会資本整備総合交付金制度の概要」及び「(2)社会資本総合整備計画の概要」について、市から説明をお願いします。
地域振興戦略部課長 補佐	それではご説明します。（資料により説明）
委員長	それでは説明に対して、ご質問等がありますか。
委員	16ページの空き家のことを教えてほしいのですが、従前値が36件で目標値が36件とありますけど、これは活用している空き家の件数ですか、ただ単に空き家の件数ですか。
地域振興戦略部課長 補佐	この整備区域内における空いている家の件数になります。活用ではなく、あくまで空き家の件数ということです。
委員	わかりました。活用しているかしていないかということではなく、現在空き家の件数が36件で、増えないという見込みですね。
地域振興戦略部課長 補佐	そうです。この計画を策定した時は、これ以上空き家を増やさないう、地域交流拠点施設の整備による賑わい創出や、利便性向上などを図ることによって、この件数の増加を留めるということで設定しています。
委員	人口を見ると非常に減少が著しいというニュアンスで、その中でも現状を維持して、この拠点地域においては空き家をこれ以上増やさないという目標値で設定をされているということですね。
委員長	他にありますでしょうか。
委員	同じく14ページの歩行者数についてですが、目標の設定基準・根拠について教えてください。
地域振興戦略部課長 補佐	目標設定の考え方になりますが、谷内商店街では、店舗数の減少がみられ、栃尾地域全体でも、集客が難しくなってきました。現状として、栃尾地域の街中から4キロほど離れたところに道の駅があり、そこではたくさんの方が買い物などをされ楽しんでいますが、そこで満足されて、街中までは寄られないという現象がありました。今回、人に街中へ来てもらい、それから地域内の回遊性を高めるということを目標としています。ただし、その成果が直ちにこの商店街の方まで及ぶところまでは難しいと思います。 まずは現状を維持し、施設完成後のイベント開催等により、微増というところで指標を設定させていただきました。
委員	先ほどの空き家の件で、36件ある空き家を何件まで減らそうという目標だったらわかるのですが、当然高齢化していますので亡くなる方もいらっしゃると思います。そういう様々な要因の中では単純

委員長	に空き家の数を指標として考えるのは、評価が難しいと感じました。 指標の設定は難しく、本当にご苦勞の多いところだと思います。おそらく背後には様々な考えがあるのではないかと推察されますので、ご理解いただきたいと思います。 それでは、次の議事に進みます。 「(3)評価結果の内容について」市から説明をお願いします。
地域振興戦略部課長 補佐	それではご説明します。（資料により説明）
委員長	委員の皆様からご意見・ご質問をお願いします。質問につきましては、その都度、市から回答いただくようお願いいたします。それでは説明に対して、ご質問等がありますか。
委員	37ページの「指標3．整備計画区域内におけるイベント参加者数」についてお伺いします。目標を大幅に上回って素晴らしい数字だと思いますので、全く問題ないと思うのですが、元々道の駅栃尾でやっているイベントをこちらに付け替えて開催したから人数が増えたということはないでしょうか。
地域振興戦略部課長 補佐	こちらのイベント参加者数につきましては、そのような付け替えはなくトチオーレで新たに行ったものになります。
委員	36ページ「指標2．整備計画区域内における空き家の件数」のところで、目標達成度が×はやむを得ないと思いますが、住家や店舗、あるいは店舗併用など、43件の内訳や、従前値の段階と比べてどういう傾向が出ているのか教えてください。
地域振興戦略部課長 補佐	調査の中では36ページの実施方法にどういったものを調査したかを記載してあります。基本的には戸建住宅を主に調査しており、アパート等やその他作業所等は含んでいません。 全部住家ということで、確認しております。
委員	わかりました。拠点施設が完成してまだ1年2年ぐらいでは、こういうところの効果が発現するのも難しいだろうと思っています。
委員	空き家に関してですが、栃尾の人口が減少していて、高齢化率も増えていく中で、栃尾だけでなくどこも同じ課題のため、空き家が増えるということは、致し方ないのだろうと思います。ただ、この空き家を指標として設定したのは、本来この空き家を活用して、サービスの充実等につなげることが目標でしたので、空き家の活用状況や、移住者の状況などが達成度の中に表記されるとある程度の実態や取り組みが評価されていくと思います。
地域振興戦略部課長 補佐	空き家も状態がかなり悪くなっているものもあり、人が住まなくなってしまうからもう何年も経って朽ちてきていたり、その後の利用

	が難しくなっているものもあります。今後は、なるべく早い段階で、その活用方法を検討していきたいと考えております。
委員長	これは、空き家で今利用していないものが43件ということで、空き家利用されているものがあれば、この数には載らないということですか。
地域振興戦略部課長補佐	そうです。使用されているものはここには含めていません。
委員長	例えば、空き家になった後利用されたというような数も把握されているのですか。
地域振興戦略部課長補佐	今回は、把握できていません。あくまで水道の閉栓状況等から現地調査を経てこの数字になっています。
委員長	わかりました。
委員	今後の目標の設定値は空き家の件数ではなく、移住者の人数などにした方がわかりやすいと思います。今後、目標値を設定するときにご検討いただければと思います。よろしくお願いします。
委員長	他にありますでしょうか。それでは審議に入ります。 34ページが目標値と評価値です。 目標達成しているものは、この通り認めたいと思います。また、空き家については残念ながら36件が43件になってしまったというところで、評価の目標達成度は×ということですのでよろしいでしょうか。 (参加者からの異議なし) ありがとうございました。審議の結果、ご提案については認めたいと思います。
	次に「(4)今後の整備方針について」市から説明をお願いします。
地域振興戦略部課長補佐	それではご説明します。(資料により説明)
委員長	それでは、審議に入ります。委員の皆様からご意見・ご質問をお願いします。
委員	記載された事項すべてその通りだと思います。その上で八十里越の開通にあわせ、全体の回遊性を高める取り組みという中で、大きな視点を持っていただいて、道の駅や素晴らしい美術館など、ぜひ地域全体で連携していただきたいと思います。
委員長	他にありますでしょうか。 トチオーレという新しい施設が整備されて、効果が発現するにはもう少し時間がかかるのではないかという指摘もありました。この事業の効果をもう少し長い目で見て、評価を継続して実施していただきたいと思います。

	せっかくの街中で空き家が増えてしまうと、非常にもったいないと思います。文化施設ができて、コアになるものもできましたので、住み替えをしてもらえるような手立てを併せて今後計画していただきたいと思います。交流人口やイベントという一過性ですから、やはりそこに住んでいただく方が増えて初めて実のあるものになっていくのではないかと思います。このあたりは是非、施設以上に重要であるという認識を持って取り組んでいただきたい。私ども土木の視点でいうと、コンパクトシティは将来に向けて非常に重要な施策になると思いますので、将来こうしておいてよかったなと思っていただけるような施策を打って、行政として進めていただきたいと思います。 他はよろしいですか。 それでは、審議に入ります。今後の整備方針について、この内容で認めたいと思いますが、よろしいでしょうか。 (参加者からの異議なし) ありがとうございます。以上で予定の議事を終了します。
--	---